

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	ダム管理施設改良費								予算主管課		河川課			
	事 業 概 要	適正なダム管理を図るため設備の修繕・点検、調査等を行う。								始期					
										終期					
	K P I	ダム施設正常稼働率													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %				
		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%			
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%			
		コ ス ト		最終現計 予算額	145489 千円		最終現計 予算額	129853 千円		最終現計 予算額	140167 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	143098 千円		決算額	129852 千円		決算額	140167 千円		決算額	千円	
					繰越額	千円		繰越額	千円						
					不用額	千円		不用額	千円						
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	令和8年度以降も引き続き、適切な施設更新や改良工事を実施すれば、KPIは目標達成と考えられることから、令和8年度の執行方法や令和9年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,6 月補 正,12 月補 正,2月 補正	事 項	堰堤改良費								予算主管課	河川課
	事 業 概 要	治水上の安全確保及び施設の老朽化対策に係る改良や貯水池の堆砂等による機能低下防 止を目的として事業を実施し、ダム施設管理の適正化を図る。								始期	
										終期	
	K P I	ダム施設正常稼働率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	232559 千円	最終現計 予算額	282477 千円	最終現計 予算額	3324533 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	232525 千円	決算額	282020 千円	決算額	2024622 千円	決算額	千円
				繰越額	1280846 千円	繰越額	千円				
					不用額	19065 千円	不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	令和 8 年度以降も引き続き、老朽化対策に係る改良工事等を実施すれば、KPIは目標達成と考えられる ことから、令和 8 年度の執行方法や令和 9 年度予算の見直しは想定していない								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	河川管理施設等維持修繕費								予算主管課	河川課	
	事 業 概 要	治水機能の速やかな回復を図り、住民の安全・安心を確保することを目的として、水門等の県管理施設の維持修繕や障害物の除去等を行う。								始期		
										終期		
	K P I	河川管理施設の機能低下に起因する浸水被害発生件数										
		KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	
		実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	件	
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	188445 千円	最終現計 予算額	213400 千円	最終現計 予算額	222857 千円	最終現計 予算額	千円	
				決算額	188377 千円	決算額	212996 千円	決算額	222657 千円	決算額	千円	
								繰越額	千円	繰越額	千円	
					不用額	200 千円	不用額	千円				
	7 年 度	要因分析	要因									
			総括									
		見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標を達成しており、近年の実績を踏まえると、今後も目標達成すると見込まれることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

事 項	外来水草発生抑制事業費（中予）										予算主管課	河川課
事 業 概 要	河川の水質浄化により外来水草の発生を抑制し、水草処分費用の低減及び河川施設機能の低下防止を図るため、木炭を利用した水質浄化の実証実験を行う。										始期	2025
											終期	2027
K P I	実証区間における外来水草被覆率											
	KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	%	目標値	100 %	目標値	50 %	目標値	25 %		
	実績値	%	実績値	%	実績値	100 %	実績値	80 %	実績値	%		
	ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	62.5 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	1500 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円	決算額	千円	決算額	1500 千円	決算額	千円		
					繰越額	千円	繰越額	千円				
						不用額	千円	不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因 炭の設置から1年しか経過していないため、現在水質検査を実施している状況。今後も継続して水質検査を実施し、水質浄化の効果を検証していく必要がある。										
		総括 令和7年度は、炭を設置し、毎月、水質調査を実施。 水質調査の結果、顕著な結果は得られなかったが、今後も調査を継続し、有効性を確認する。 令和8年度は、局予算ではなく、県単独費で水質調査を継続する。										
	見直し方向性											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。